

泌尿器科学

1 構成員

	平成21年3月31日現在
教授	1人
准教授	0人
講師（うち病院籍）	2人（2人）
助教（うち病院籍）	4人（2人）
助手（うち病院籍）	1人（0人）
特任教員（特任教授，特任准教授，特任助教を含む）	0人
医員	2人
研修医	0人
特任研究員	1人
大学院学生（うち他講座から）	1人（0人）
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技術職員（教務職員を含む）	0人
その他（技術補佐員等）	5人
合 計	17人

2 教員の異動状況

大園誠一郎（教授）	（H15. 4. 16～現職）
麦谷 莊一（講師）	（H16. 3. 1～現職）
栗田 豊（講師）	（H18. 4. 1～現職）
古瀬 洋（助教）	（H14. 7. 1～H19. 3. 31助手；H19. 4. 1～現職）
高山 達也（助教）	（H12. 7. 1～H19. 3. 31助手；H19. 4. 1～現職）
大塚 篤史（助教）	（H15. 7. 1～H19. 3. 31助手；H19. 4. 1～現職）
永田 仁夫（助教）	（H18. 4. 1～H19. 3. 31助手；H19. 4. 1～現職）
今西 武志（診療助教）	（H19. 7. 1～医員，H20. 9. 1～現職）

3 研究業績

数字は小数2位まで。

	平成20年度
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	10編（1編）
そのインパクトファクターの合計	19.46
(2) 論文形式のプロシーディングズ数	7編
(3) 総説数（うち邦文のもの）	11編（11編）
そのインパクトファクターの合計	0

(4) 著書数 (うち邦文のもの)	16編 (15編)
(5) 症例報告数 (うち邦文のもの)	1編 (0編)
そのインパクトファクターの合計	1.37

(1) 原著論文 (当該教室所属の者に下線)

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Otsuka A, Shinbo H, Matsumoto R, Kurita Y, Ozono S : Expression and functional role of beta-adrenoceptors in the human urinary bladder urothelium. *Naunyn Schmiedebergs Arch Pharmacol* 377: 473-481, 2008.
2. Takaoka N, Takayama T, Miyazaki M, Nagata M, Ozono S : Modification of primers for GRHPR genotyping: avoiding allele dropout by single nucleotide polymorphisms and homology sequence. *Urol Res* 36: 297-302, 2008.
3. Otsuka A, Shinbo H, Hasebe K, Matsumoto R, Ozono S : Effects of a novel beta3-adrenoceptor agonist, AJ-9677, on relaxation of the detrusor muscle: an in vitro study. *Int J Urol* 15: 1072-1076, 2008.
4. 大園誠一郎, 渡辺哲也, 影山慎二: 患者満足度を指標としたタムスロシンとシロドシンのクロスオーバー比較試験 *泌尿器外科* 21 : 1507-1512, 2008.

インパクトファクターの小計 [4.32]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

1. Miyazaki H, Suda T, Nagata M, Otsuka A, Ozono S, Hashimoto D, Nakamura Y, Inui N, Nakamura H, Chida K: Tiotropium does not affect lower urinary tract functions in COPD patients with benign prostatic hyperplasia. *Pulm Pharmacol Ther* 21: 879-83, 2008.
2. Naito T, Mino Y, Otsuka A, Ushiyama T, Ozono S, Kagawa Y, Kawakami J: Influence of metal cations on plasma trough concentration of mycophenolic acid and its glucuronide in tacrolimus-treated and cyclosporine-treated kidney transplant recipients. *Biol Pharm Bull* 31: 1292-6, 2008.
3. Mino Y, Naito T, Matsushita T, Otsuka A, Ushiyama T, Ozono S, Hishida A, Kagawa Y, Kawakami J : Comparison of pharmacokinetics of mycophenolic acid and its glucuronide between patients with lupus nephritis and with kidney transplantation. *Ther Drug Monit* 30: 656-661, 2008.

インパクトファクターの小計 [6.57]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Tsujimoto S, Fujimoto K, Okajima E, Ozono S, Okajima E, Hirao Y: 5-Fluorouracil incorporated into the tissue RNA of human and rat bladder carcinoma after administration of 1- (2-tetrahydrofuryl) -5-fluorouracil combined with uracil. *Int J Clin Oncol* 13: 138-143, 2008.
2. Ito K, Nakazawa H, Marumo K, Ozono S, Igarashi T, Shinohara N, Fukuda M, Tsushima T,

Naito S, Hayakawa M: Risk Factors for Ipsilateral Adrenal Involvement in Renal Cell Carcinoma. Urology 72: 354-358, 2008.

3. Suzuki H, Okihara K, Miyake H, Fujisawa M, Miyoshi S, Matsumoto T, Fujii M, Takihana Y, Usui T, Matsuda T, Ozono S, Kumon H, Ichikawa T, Miki T and Nonsteroidal Antiandrogen Sequential Alternation for Prostate Cancer Study Group: Alternative Nonsteroidal Antiandrogen Therapy for Advanced Prostate Cancer That Relapsed After Initial Maximum Androgen Blockade. J Urol 180: 921-927, 2008.

インパクトファクターの小計 [8.57]

(2) 論文形式のプロシーディングズ

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 大園誠一郎, 高山達也, 麦谷荘一: The paradigm shift in treatment of advanced RCC in Japan. 泌尿器外科 21: 940-944, 2008.
2. 大塚篤史: 過活動膀胱症状質問表 (OABSS) を用いた過活動膀胱患者における塩酸プロピペリンの臨床効果の検討 日経CME (日経メディカル同封別冊/第96回日本泌尿器科学会総会記録集): 1-7, 2008.
3. 大園誠一郎: 泌尿器科疾患の薬物療法におけるピットホール Jpn Pharmacol Ther 36: 695-697, 2008.
4. 大園誠一郎, 高山達也, 甲斐文丈, 古瀬 洋, 麦谷荘一, 牛山知己: Incidentalomaのわが国の実態 第34回尿路悪性腫瘍研究会記録 腎細胞癌の診断と治療: 6-11, 2008.
5. 高岡直央, 麦谷荘一, 大園誠一郎: BCG株交替療法の効果解明におけるBCG抵抗性膀胱癌初代培養系に関する研究 泌尿器外科22: 178-179, 2009.
6. 永田仁夫, 高山達也, 麦谷荘一, 大園誠一郎: 浜松医科大学泌尿器科におけるSPT/AGT測定によるPHIの診断 日尿結石誌7: 111-114, 2009.
7. 麦谷荘一, 甲斐文丈, 杉山貴之, 高山達也, 栗田 豊, 牛山知己, 大園誠一郎: 腎癌治療切除後の予後予測因子としての血清CRP・IAP値の検証 腎癌研究会会報36: 45-46, 2009.

(3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 大園誠一郎: “エキスパートが示す内視鏡手術のコツ”～VI. “TUR-P”“TUR-BT” 序文 Jpn J Endourol ESWL 21: 292, 2008.
2. 麦谷荘一, 大園誠一郎, 五十嵐辰男: 内視鏡全体像の応用-上部尿路- Mebio 25: 6-11, 2008.
3. 麦谷荘一, 大園誠一郎: 腎出血の精査・止血術 Jpn J Endourol ESWL 21: 78-82, 2008.
4. 大園誠一郎, 栗田 豊, 小林利彦: 医療経済的側面から探る前立腺肥大症の治療と管理 Prog.Med 28: 1419-1423, 2008.
5. 大園誠一郎, 高山達也, 麦谷荘一: 分子標的薬の診療ガイドラインへの位置づけ Urology View 6: 65-69, 2008.
6. 古瀬 洋, 大園誠一郎: Complete TUR-Btを目指した筋層非浸潤性膀胱癌に対するTUR-Bt -

その基本手技について- Jpn J Endourol ESWL 21: 312-318, 2008.

7. 麦谷荘一：知っておきたい泌尿器科領域の超音波診断 SHIZUOKA JOURNAL 18: 42-46, 2008.
8. 高山達也, 劉 紅明, 麦谷荘一, 大園誠一郎：腫瘍周囲の生物学的活性からみた腎癌に対する部分切除範囲の決定 泌尿器外科21: 1467-1471, 2008.
9. 大園誠一郎, 高山達也, 麦谷荘一：腎細胞癌の疫学・統計 RCC FOREFRONT 1: 8-9, 2009.
インパクトファクターの小計 [0.00]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. 森田剛文, 高山達也, 今野弘之, 大園誠一郎, 瀬藤光利：質量顕微鏡によるメタボローム解析からみた腎癌周囲環境 泌尿器外科21: 1473-1480, 2008.
インパクトファクターの小計 [0.00]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 藤本直浩, 松本哲朗, 鈴木啓悦, 市川智彦, 沖原宏治, 三木恒治, 三宅秀明, 藤澤正人, 植村元秀, 三好 進, 田丁貴俊, 矢野 明, 藤井元廣, 滝花義男, 武田正之, 石 光広, 松原昭郎, 唯井 亞, 木下秀文, 松田公志, 麦谷荘一, 大園誠一郎, 那須保友, 雑賀隆史, 公文裕巳：Maximum androgen blockade中のPSA再燃に対する非ステロイド性抗アンドロゲン剤交替療法 -NASA-PC研究会報告を中心に- 西日泌71: 3-10, 2009.
インパクトファクターの小計 [0.00]

(4) 著 書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 大園誠一郎：腎細胞癌RCCをよく知っていただくために-スーテントRで治療を受ける方へ- 腎細胞癌RCCをよく知っていただくために-スーテントRで治療を受ける方へ-: 1-7, 2008.
2. 大園誠一郎：治療：「4. 保存治療」「5. その他の治療」 男性下部尿路症状診療ガイドライン：82-89, 2008.
3. 麦谷荘一, 永田仁夫, 高山達也, 大園誠一郎：PNL補助装置 尿路結石症のすべて：80, 2008.
4. 麦谷荘一, 永田仁夫, 高山達也, 大園誠一郎：PNL: 合併症 尿路結石症のすべて：81, 2008.
5. 麦谷荘一, 永田仁夫, 高山達也, 大園誠一郎：PNL: 治療成績と適応拡大 尿路結石症のすべて：82, 2008.
6. 麦谷荘一, 永田仁夫, 高山達也, 大園誠一郎：PNL:ESWLとの併用療法 尿路結石症のすべて：83, 2008.
7. 永田仁夫, 高山達也, 麦谷荘一, 大園誠一郎：尿路結石の高分子物質 尿路結石症のすべて：169-170, 2008.
8. 高山達也, 永田仁夫, 麦谷荘一, 大園誠一郎：シュウ酸代謝関連酵素の測定 尿路結石症のすべて：196, 2008.
9. 大園誠一郎：BPHの関連用語について-定義の変遷と最近の考え方を中心に- New Con-

cepts of BPH/LUTS : 44-47, 2008.

10. 高山達也, 大園誠一郎 : 内分泌療法 インフォームドコンセントのための図説シリーズ 前立腺がん : 90-97, 2008.
11. 栗田 豊, 大園誠一郎 : アンチアンドロゲン剤 よくわかって役に立つ前立腺肥大症のすべて:183-189, 2009.
12. 大園誠一郎, 栗田 豊 : 前立腺肥大症・排尿障害改善薬 治療薬ハンドブック 薬剤選択と処方のポイント2009 : 684-695, 2009.
13. 大園誠一郎 : 医学書院 医学大事典 第2版 医学書院 医学大事典 第2版, 2009.
14. 大園誠一郎, 栗田 豊 : 下部尿路閉塞性疾患 排泄リハビリテーションー理論と臨床ー :104-110, 2009.

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 野々村克也, 塚本泰司, 羽渕友則, 藤岡知昭, 富田善彦, 市川智彦, 高橋 悟, 颯川 晋, 北村唯一, 木原和徳, 堀江重郎, 馬場志郎, 窪田吉信, 大園誠一郎, 武田正之, 布施秀樹, 郡健二郎, 平尾佳彦, 小川 修, 三木恒治, 勝岡洋治, 仲谷達也, 原 勲, 金山博臣, 執印太郎, 横山雅好, 公文裕巳, 中川昌之 : 前立腺がん検診ガイドライン2008年度版 前立腺がん検診ガイドライン2008年度版, 2008.
2. Scott D. Cramer, Takayama T : Primary Hyperoxaluria Chapter 33 In "Genetic Diseases of the Kidney" Richard Lifton, Stefan Somlo, Gerhard Giebisch, and Donald Seldin eds. San Diego CA, Elsevier Inc. pp. 571-586, 2009

(5) 症例報告

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Mori H, Nagata M, Nishijima N, Nagura K, Igarashi H, Hamazaki M, Ozono S, Sugimura H : Malignant pheochromocytoma in a young adult forming the structure simulating Homer Wright rosette: Differentiation from neuroblastoma on repeating fluorescence in situ hybridization. Pathology Int 58: 518-523, 2008.

インパクトファクターの小計 [1.37]

4 特許等の出願状況

	平成20年度
特許取得数 (出願中含む)	2件 (出願中1件)

1. 林亮司, 菊地司, 新居賢樹, 黒澤聡, 長谷部光, 蟹江小葉子, 大園誠一郎, 大塚篤史 ベンジルアミン誘導体またはその薬学的に許容される酸不可塩, およびその医薬用途 国際出願番号 : PCT/JP2008/051479 出願日 : 2008. 1. 31.

5 医学研究費取得状況

	平成20年度
(1) 文部科学省科学研究費	3件 (420万円)
(2) 厚生科学研究費	1件 (30万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0件 (0万円)
(4) 財団助成金	1件 (50万円)
(5) 受託研究または共同研究	8件 (434万円)
(6) 奨学寄附金その他 (民間より)	26件 (2,288万円)

(1) 文部科学省科学研究費

大園誠一郎 (代表者) 基盤研究 (C) 腎癌微小環境における脳型遊離脂肪酸結合蛋白の機能解明とバイオマーカーキットの開発 210万円 (新規)

高山達也 (代表者) 基盤研究 (C) グリオキシル酸還元酵素のミトコンドリア局在化配列の同定と原発性高尿酸血症の探索 160万円 (新規)

永田仁夫 (代表者) 若手研究 (B) 原発性高尿酸血症に対する抗SDH抗体を用いた新しい診断法の開発 50万円 (継続)

(2) 厚生科学研究費

大園誠一郎 (分担者) 早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究 30万円 (継続) 代表者 九州大学大学院医学研究院泌尿器科学分野 内藤誠二

(4) 財団助成金

麦谷荘一 (代表者) (財) 内視鏡医学研究振興財団「特発性腎出血の病因解明に関する実験的研究：ナットクラッカー現象における内視鏡的評価」50万円

(5) 受託研究または共同研究

大園誠一郎 バイエル薬品(株)

大園誠一郎 ファイザー(株)

大園誠一郎 第一三共(株)

古瀬 洋 (株)ヤクルト

高山 達也 ブリストル・マイヤーズ(株)

高山 達也 アストラゼネカ(株)

高山 達也 グラクソスミスクライン(株)

大塚 篤史 日本新薬(株)

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0件	30件

(2) シンポジウム発表数	0件	6件
(3) 学会座長回数	1件	11件
(4) 学会開催回数	0件	1件
(5) 学会役員等回数	0件	19件
(6) 一般演題発表数	7件	

(1) 国際学会等開催・参加

4) 国際学会・会議等での座長

1. Ozono S. 25th Japan-Korea Urological congress, Okayama Plaza Hotel, 2008/9/27

5) 一般発表

口頭発表

1. Takaoka N, Takayama T, Miyazaki M, Nagata M, Ozono S : MODIFICATION OF PRIMERS FOR GRHPR GENOTYPING- AVOIDING ALLELE DROPOUT BY SINGLE NUCLEOTIDE POLYMORPHISMS (SNPS) AND HOMOLGY SEQUENCE. "11th International Symposium on Urolithiasis", September 2008, Nice, France.
2. Mugiya S, Nagata M, Imanishi T, Kurita Y, Ushiyama T, Ozono S: Novel observation in upper urinary tract by digital flexible video ureterorenoscope with Narrow Band Imaging (NBI). "25th Japan-Korea UROLOGICAL CONGRESS", September 2008, Okayama, JAPAN.

ポスター発表

1. Mugiya S, Ozono S, Nagata M, Takayama T, Ushiyama T : INVESTIGATION OF PRE-OPERATIVE SERUM C-REACTIVE PROTEIN ELEVATION IN RECURRENCE FOR PATIENTS WITH LOCALIZED RENAL CELL CARCINOMA."2008 AUA Annual Meeting", May 2008, Orlando, USA.
2. Suzuki K, Fujisawa M, Matsumoto T, Takeda M, Usui T, Matsuda T, Ozono S, Kumon H, Ichikawa T, Miki T : Alternative non-steroidal antiandrogen therapy for advanced prostate cancer that has relapsed after initial maximum androgen blockade. "44th Annual Meeting of the American Society of Clinical Oncology", May 2008, Chicago, Illinois.
3. Takayama T, Takaoka N, Miyazaki M, Nagata M, Mugiya S, Johnin K, Okada Y, Kuhara T, Cramer SD, Ozono S: The relationship between molecular analysis and ethnic differences of genotype in Japanese patients with primary hyperoxaluria type 2."11th International Symposium on Urolithiasis", September 2008, Nice, France.
4. Hinotsu S, Naito S, Ozono S, Sumiyoshi Y, Noguchi S, Terai A, Tsukamoto T, Hirao Y, Akaza H: Prophylactic effect of 1.5-year maintenance PMCJ-9 (BCG Connaught strain) therapy for non-muscle invasive urothelial carcinoma of the bladder (NMIBC): Results of interim analysis of prospective randomized phase III trial in Japan."2009 Genitourinary Cancers Symposium: A Multidisciplinary Approach", February 2009, Orlando, Florida USA.

5. Takayama T, Teratani T, Takaoka N, Sugiyama T, Kai F, Nozawa R, Ozono S: Detection of the transcript for brain-type fatty acid binding protein in the tumor and urine of patients with renal cell carcinoma."2009 Genitourinary Cancers Symposium: A Multidisciplinary Approach", February 2009, Orlando, Florida USA.

(2) 国内学会の開催・参加

1) 主催した学会名

第25回浜松カンファレンス 2008. 07 .26, 浜松市

2) 学会における特別講演・招待講演

1. 大園誠一郎：腎癌治療薬Nexavarの臨床－海外臨床試験を中心に－，ネクサバル錠承認記念講演会，2008. 04. 18, 大阪市
2. 大園誠一郎：腎細胞癌の現況－分子標的療法時代を迎えて－，多摩地区分子標的治療薬講演会，2008. 05. 23, 東京都
3. 大園誠一郎：「腎癌治療のパラダイムシフト」－分子標的療法時代を迎えて－，第5回三河泌尿器科セミナー，2008. 05. 31, 名古屋市
4. 麦谷荘一：血尿患者の超音波検査，第43回超音波部会研修会，2008. 06. 21, 藤枝市
5. 大園誠一郎：わが国における今後の腎癌治療－分子標的療法時代を迎えて－，第5回千葉腎癌免疫療法研究会，2008. 06. 27, 千葉市
6. 大園誠一郎：前立腺肥大症診療ガイドライン－アウトカムリサーチを踏まえた今後の取り組みについて－，ユリーフ発売2周年記念学術講演会，2008. 07. 05, 札幌市
7. 大園誠一郎：HRPCに対する治療戦略－MABから化学療法ならびに今後の展望を交えて－，第17回福井泌尿器科フォーラム，2008. 07. 24, 福井市
8. 大園誠一郎：人に聞けない尿の悩み－夜間頻尿，尿失禁を中心に－，浜医大の健康科学セミナー，2008. 07. 27, 浜松市
9. 大園誠一郎：前立腺肥大症診療GL－アウトカムリサーチを踏まえた今後の取り組み－，第7回福岡前立腺疾患研究会，2008. 08. 22, 福岡市
10. 大園誠一郎：OABの治療戦略－どこまで非泌尿器科医に任せるか？－，南大阪排尿障害セミナー，2008. 08. 23, 大阪市
11. 大園誠一郎：実地医家における排尿・蓄尿障害への対応，第260回生涯教育研修会，2008. 08. 28, 浜松市
12. 大園誠一郎：わが国における今後の腎癌治療－分子標的療法時代を迎えて－，岩手スーテント講演会，2008. 09. 04, 盛岡市
13. 大園誠一郎：膀胱癌の治療戦略－ガイドラインの現状と標準的治療選択－，東京北部泌尿器科癌研究会，2008. 10. 09, 東京都
14. 大園誠一郎：わが国における今後の腎癌治療－分子標的療法時代を迎えて－，佐世保分子標的治療セミナー，2008. 10. 17, 佐世保市
15. 大園誠一郎：わが国における今後の腎癌治療－分子標的療法時代を迎えて－，第60回日本

- 泌尿器科学会西日本総会，教育セミナー，2008. 11. 07，北九州市
16. 麦谷荘一：ハンズオントレーニング f-TUL. 第22回日本Endourology・ESWL学会総会，2008. 11. 11，大阪市
 17. 大園誠一郎：糖尿病（DM）と下部尿路障害（LUTD）について，静岡糖尿病と排尿障害スモールミーティング，2008. 11. 13，静岡市
 18. 大園誠一郎：BCG膀胱内注入療法の現況，臨床的背景，第58回日本泌尿器科学会中部総会2008. 11. 14，滋賀県大津市
 19. 大園誠一郎：OABの治療戦略－どこまで非泌尿器科医に任せるか？－，志太医師会学術講演会，2008. 11. 27，藤枝市
 20. 大園誠一郎：OABの治療戦略－婦人科医と泌尿器科医の相互補完を目指して－，第3回大阪女性排尿障害研究会，2008. 11. 29，大阪市
 21. 大園誠一郎：前立腺がんについて～50歳を過ぎた方への基礎知識～，メディメッセージ2008in浜松 公開講座，2008. 11. 30，浜松市
 22. 大園誠一郎：進行泌尿器癌治療の現況－腎癌・膀胱癌・前立腺癌の新規薬剤を中心に－，第33回浜松ホトニクス・セミナー，2008. 12. 10，浜松市
 23. 大園誠一郎：「BPH診療GL」から「mLUTS診療GL」へ－BPH診療における泌尿器科医と非泌尿器科医の相互補完を旨として－，排尿障害治療フォーラム－LUTS治療の最前線－，2009. 01. 21，静岡市
 24. 大園誠一郎：HRPCに対する治療戦略－MABから化学療法へ，今後の展望を交えて－，前立腺癌学術講演会，2009. 01. 22，徳島市
 25. 永田仁夫：前立腺とは，市民公開講座「前立腺についてのお話し」～50歳を過ぎたら～，2009. 02. 11，磐田市
 26. 栗田 豊：前立腺肥大症について，市民公開講座「前立腺についてのお話し」～50歳を過ぎたら～，2009. 02. 11，磐田市
 27. 古瀬 洋：前立腺がんについて，市民公開講座「前立腺についてのお話し」～50歳を過ぎたら～，2009. 02. 11，磐田市
 28. 大園誠一郎：前立腺検診について，市民公開講座「前立腺についてのお話し」～50歳を過ぎたら～，2009. 02. 11，磐田市
 29. 大園誠一郎：筋層非浸潤性膀胱癌の治療戦略－診療ガイドラインの現状と標準的治療選択－，第11回南東葛区尿路上皮腫瘍研究会，2009. 02. 13，浦安市
 30. 大園誠一郎：筋層非浸潤性膀胱癌の治療戦略－ガイドラインの現状と標準的治療選択－，泌尿器癌懇話会第20回記念講演会学術講演会，2009. 02. 21，札幌市

3) シンポジウム発表

1. 高山達也，永田仁夫，大園誠一郎：過シュウ酸尿症2型．第96回日本泌尿器学会総会ワークショップ，2008. 4. 26，横浜市
2. 麦谷荘一，大園誠一郎：BCG株交替療法の有効性：その作用機序は？ 第96回日本泌尿器科学会総会，2008. 4. 27，横浜.

3. 大園誠一郎, 古瀬 洋, 高山達也, 麦谷莊一：再発予防：抗がん剤膀胱内注入療法とBCG膀胱内注入療法の適応と使い分け，第35回尿路悪性腫瘍研究会，2008. 07. 19，東京都
4. 大園誠一郎, 野々村祝夫, 澤木 明, 神田達夫：副作用のマネージメントに関して－具体的な症例提示－，スーテント発売記念シンポジウム-適正使用に向けて－，2008. 07. 12，神戸市
5. 永田仁夫, 高山達也, 大園誠一郎：蓆酸カルシウム結石の成因－過蓆酸尿について－，第58回日本泌尿器科学会中部総会，2008. 11. 14，滋賀県大津市
6. 大園誠一郎：浸潤性膀胱癌の治療について－診断方法，治療法のオーバービューと成績のまとめ－，第3回静岡膀胱がんシンポジウム，2009. 03. 28，静岡市

4) 座長をした学会名

1. 大園誠一郎 第96回日本泌尿器科学会総会 ワークショップ 2008. 4. 27 横浜市
2. 大園誠一郎 第51回日本腎臓学会総会 ポスター 2008. 5. 30 福岡市
3. 大園誠一郎 第21回日本老年泌尿器科学会 一般口演 2008. 5. 24 北九州市
4. 大園誠一郎 第53回日本透析医学会学術集会総会 ポスター 2008. 6. 21 神戸市
5. 大園誠一郎 第15回日本排尿機能学会 イブニングセミナー1 2008. 9. 11 東京都
6. 大塚 篤史 第15回日本排尿機能学会 一般口演 2008. 09. 13. 東京都
7. 大園誠一郎 第46回日本癌治療学会 口演 2008. 10. 31 名古屋市
8. 大園誠一郎 第22回日本Endourology・ESWL学会 サテライトシンポジウム 2008. 11. 12 大阪市
9. 大園誠一郎 第58回日本泌尿器科学会中部総会 ランチョンセミナ 2008. 11. 15 大津市
10. 大園誠一郎 第58回日本泌尿器科学会中部総会 ランチョンセミナ 2008. 11. 16 大津市
11. 麦谷 莊一 第58回日本泌尿器科学会中部総会 一般ポスター 2008. 11. 15，大津市

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

- 大園誠一郎 日本泌尿器科学会 評議員，倫理委員，専門医制度審議会委員
- 大園誠一郎 日本癌治療学会 評議員
- 大園誠一郎 日本排尿機能学会 理事
- 大園誠一郎 日本Endourology・ESWL学会 理事，将来検討委員（長）
- 大園誠一郎 日本老年泌尿器科学会 評議員
- 大園誠一郎 日本腎臓学会 学術評議員
- 大園誠一郎 日本内分泌外科学会 評議員
- 大園誠一郎 日本アンドロロジー学会 評議員
- 大園誠一郎 日本女性骨盤底医学会 理事
- 大園誠一郎 日本Men's Health医学会 評議員
- 麦谷 莊一 日本Endourology & ESWL学会：評議員
- 麦谷 莊一 日本Endourology & ESWL学会：尿路結石内視鏡治療標準化委員会委員
- 麦谷 莊一 日本Endourology & ESWL学会：世界泌尿器内視鏡学会組織委員会委員

麦谷 莊一 日本腎臓学会：学術評議員
 麦谷 莊一 日本腎臓学会：腎臓専門医試験症例評価委員
 麦谷 莊一 日本超音波医学会：超音波検査士認定試験委員会試験委員
 麦谷 莊一 日本超音波医学会：奨励賞選考委員会審議委員
 麦谷 莊一 日本内分泌外科学会：評議員
 高山 達也 日本腎臓学会学術評議員

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリース数は除く）	3件	0件

(1) 国内の英文雑誌の編集

大園誠一郎：International Journal of Clinical Oncology(日本癌治療学会)，Editorial Board, PubMed/Medline登録有，インパクトファクター無

International Journal of Urology(日本泌尿器科学会)，Editorial Board, PubMed/Medline登録有，インパクトファクター有

Japanese Journal of Clinical Oncology, Associate editor, PubMed/Medline登録有，インパクトファクター有

(3) 国内外の英文雑誌のレフリース

大園誠一郎：International Journal of Clinical Oncology（日本）1回

Journal of Endourology（日本）1回

International Journal of Experimental Pathology（英国）1回

麦谷 莊一：International Journal of Urology（日本）2回

Diagnostic and Therapeutic Endoscopy（USA）1回

大塚 篤史：International Journal of Urology（日本）2回

European Journal of Pharmacology（オランダ）2回

International Brazilian Journal of Urology（ブラジル）1回

9 共同研究の実施状況

	平成20年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	6件
(3) 学内共同研究	0件

(2) 国内共同研究

1. 浸潤性膀胱以降上皮がん（T2-4aN0M0）に対する術前MVAC化学療法による予後改善の意義に関する第Ⅲ相試験（泌尿器科腫瘍研究グループ）
2. 早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究（泌尿器科腫瘍研究グループ）

3. 酢酸クロルマジノンによる前立腺肥大症患者の血中APSA値に与える影響に関する研究（医師主導型自主研究）
4. 低用量BCG注入療法の有用性に関するランダム化比較試験（医師主導型自主研究）
5. 腎細胞癌におけるインターフェロン α の治療効果と一塩基多型（SNPs）の関連性研究（医師主導型自主研究）
6. 再燃前立腺がんにおける非ステロイド性抗アンドロゲン剤交替療法の有用性の検討（医師主導型自主研究）

10 産学共同研究

	平成20年度
産学共同研究	0件

11 受賞

(3) 国内での受賞

1. 麦谷荘一 日本Endourology・ESWL学会オリパス賞 平成20年11月13日

15 新聞、雑誌等による報道

1. 「夏に備え体ケア 浜医大の健康科学セミナー」大園誠一郎 中日新聞 平成20年6月24日